



日本印刷新聞

2013年 6月24日 掲載

D i T T デジタル教科書議論 個人情報保護が論点に

デジタル教科書教材協議会(D i T T)は6月17日、慶應義塾大学三田キャンパスで「ICT教育で世界をリードする〜D i T T成果発表会2013〜」を開催し、実証研究・セキュリティ報告、パネルディスカ

ッションをおこなった(1) CTT(情報通信技術)はじめに中村伊知哉事務局長(慶應義塾大学メディアデザイン研究科教授)が次のようにあいさつした。

「D i T Tの活動も3年目に入り正念場を迎えた。活動をはじめたときは、無茶苦茶な」と言うなど多

数の非難も受けていたが、ここ一年で場面が大きく転換してきてる。われわれが主張してきた、2015年には一人一台のデジタル教科書、を実現しようと

手当てが軽減されることにより子供たちに向き合う時間が増えるなどの結果を述べた。

プライバシー情報の取り扱いとセキュリティ対策について

セシス事業部企画部部長と大橋正人氏(株文溪堂企画開発部課長)よりおこな

われた。西氏は小中学校で

ステージに上がったといえども決意をあらたにしていた

実証報告は石沢朋氏(株ジャストシステムマイセンス事業部企画部部長)と大橋正人氏(株文溪堂企画開発部課長)よりおこな

われた。西氏は小中学校で

セシス事業部企画部部長(立命館大学教育開発推進機構教授)、趙章恩氏(韓国ITジャーナリスト)、松原聰氏(東洋大学教授)、山際大志郎氏(衆議院議員・自由民主党)、中村事務局長、石戸奈々子(NPO法人CANVAS理事長)の7人で活発な議論が交わされた。パネルディスカッションの最後には、各々が日本のICT教育の未来についてメッセージを発信し、発展と成功、現場の学校教育関係者への期待を述べた。

デジタル教科書に活発な議論が交わされた

デジタル教科書教材協議会(D i T T)は6月17日、慶應義塾大学三田キャン

パスで「ICT教育で世界をリードする〜D i T T成

果発表会2013〜」を開催し、実証研究・セキュリ

ションをおこなった(1) CTT(情報通信技術)はじめに中村伊知哉事務局長(慶應義塾大学メディアデザイン研究科教授)が次のようにあいさつした。

「D i T Tの活動も3年目に入り正念場を迎えた。活動をはじめたときは、無茶苦茶な」と言うなど多

数の非難も受けていたが、ここ一年で場面が大きく転換してきてる。われわれが主張してきた、2015年には一人一台のデジタル教科書、を実現しようと

手当てが軽減されることにより子供たちに向き合う時間が増えるなどの結果を述べた。

プライバシー情報の取り扱いとセキュリティ対策について

セシス事業部企画部部長(立命館大学教育開発推進機構教授)、趙章恩氏(韓国ITジャーナリスト)、松原聰氏(東洋大学教授)、山際大志郎氏(衆議院議員・自由民主党)、中村事務局長、石戸奈々子(NPO法人CANVAS理事長)の7人で活発な議論が交わされた。パネルディスカッションの最後には、各々が日本のICT教育の未来についてメッセージを発信し、発展と成功、現場の学校教育関係者への期待を述べた。